



## 新たな生活様式・働き方を 全ての人の活躍につなげるために ～男女共同参画白書から～

内閣府が作成しているこの白書では、1日の時間の使い方や雇用形態、労働時間、育児休業の利用状況など、さまざまな切り口で社会の現状を捉え、家事・育児などの無償労働時間が女性に、仕事などの有償労働時間が男性に偏っている実態を示し、課題を指摘しています。

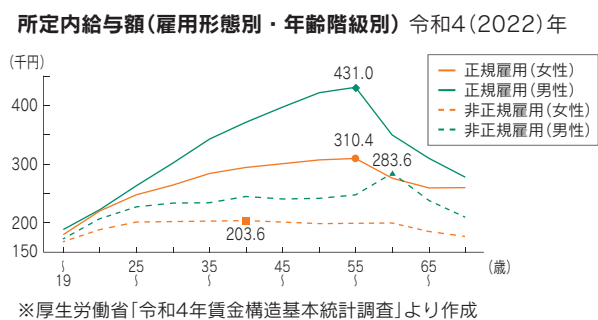
### ■ 課題 — 男女間賃金格差 —

女性の賃金は男性の約8割にとどまり、諸外国と比べ大きな格差があります。その要因の一つが職階や職責の男女差。雇用形態別に見ると、男性の割合が大きい正社員と、女性の割合が大きい非正社員の間に給与差があることに加え、同じ雇用形態でも男女間に給与差があり、その差は年齢とともに上昇しています(右図)。この格差は、男性の就労を促進する一方で、女性の技能形成・キャ

リア形成を阻害し、性別役割分担を後押しする恐れがあります。

このほか白書では、全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会「令和モデル」の実現に向けて課題を考察しています。

皆さんも白書を基に、これからの社会に必要なことを一緒に考えてみませんか。



男女共同  
参画白書



## 全国的に不審な事業者の報告も 災害に便乗した消費者トラブルに注意

### 事例

訪問事業者から「地震で震度6強の場合、損害保険から見舞金が出る」と受け取り方のチラシを渡され、「保険金請求の申請をサポートする」と勧誘された。契約後、誤字脱字の多い書面を不審に感じ、知人に相談。契約を解除できたが、他の家にも個別訪問しているようだ。

### 消費者へのアドバイス

- 突然訪問されても、その場で契約せず、しつこい業者は特に注意しましょう。また、不審な電話はすぐに切り、来訪の申し出は断りましょう。
- 損害保険金の請求の相談は、加入先の保険会社や保険代理店にしてください。保険金の請求は加入者自身で行うことが基本です。

相談は 宇城市消費生活センター ☎33-8277 へ



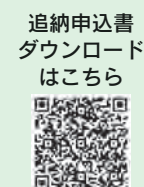
## 国民年金保険料は追納できる期間に限りがあります 追納手続きはお早めに

保険料の免除・納付猶予や学生納付特例の期間がある場合は、保険料を全額納付した場合と比べて老齢基礎年金が減額となります。

しかし、後から追納することで老齢基礎年金の年金額を増やすことができます。

### 追納方法

- 医療保険課で申込書を記入  
※日本年金機構ホームページからダウンロードも可。  
※窓口では本人確認を実施しています。マイナンバーカードや運転免許証などの本人確認書類を持参してください。
- 医療保険課または年金事務所に提出
- 年金事務所から納付書が届く(1~2カ月後)



### ■ イベント開催

in 宇城小川

## 地域の歴史を再発見！町家探訪ツアー



若城金物店

塩屋御膳

国登録有形文化財の新麴屋、塩屋、若城金物店を巡り、まち歩きをします。

日時 8月13日(日) 9時~11時30分

場所 小川町商店街

参加費 500円(建物維持修繕協力金含む)  
※中学生以下無料

対象 小学生以上 定員 30人

申込方法 氏名、参加人数、電話番号を、メールまたは電話

申込期限 8月11日(金) 18時

※希望者には塩屋御膳の昼食付き(事前予約制、別途1,000円)

図 坂田 ☎090-9725-5715

☐ info@kite-ogawa.org

風の館 塩屋  
Instagram



郷土資料館

企画展準備のため 臨時休館します  
日程 8月14日(日)~9月4日(日)

引き継がれる思い  
登録有形文化財の一つ「旧岩崎家住宅(塩屋)」は、小川町在住の女性グループ「風の会」によって平成13年に「風の館 塩屋」として開館。以来、約20年に渡り文化交流拠点、また、憩いの場として親しまれてきました。しかし、コロナ禍や団体の高齢化から塩屋の管理が困難に。そこで、以前から商店街で活動していた大池早代さん、川村侑未さん、坂田純一さんの3人が「(社)kite」を設立。令和



「魅力的な町家を活用して、地域の歴史や文化をみんなで楽しむ雰囲気を作っていきたいです」

4年から塩屋の新しい運営管理者となり、レンタルスペースとしての貸し出しやイベントの開催などを行っています。  
江戸時代の風を感じることで、出掛けてみませんか。

## 郷の記憶をたどる

私たちが暮らす宇城市の郷土にまつわる  
さまざまな文化の魅力を発信します

文化スポーツ課  
☎32-1954



探検！小川宿  
じやく



▲新麴屋柏原家住宅

◀旧岩崎家住宅(塩屋)

今回は、江戸時代の小川町について紹介します。  
熊本藩は、幕府が行った参勤交代のルートにある街道沿いの17の町を、休憩や宿泊に使用する宿場町に指定。商業形態を定めて整備しました。その一つに、「小川宿」として現在の小川町商店街一带が含まれていました。小川宿は、八代海に流れる砂

今回は、江戸時代の小川町について紹介します。  
熊本藩は、幕府が行った参勤交代のルートにある街道沿いの17の町を、休憩や宿泊に使用する宿場町に指定。商業形態を定めて整備しました。その一つに、「小川宿」として現在の小川町商店街一带が含まれていました。小川宿は、八代海に流れる砂

川の右岸に位置し、室町時代末期から海産物を中心とした経済活動の集散地として繁栄。宿場町として指定されたことでさらに発展し、現在まで続く商店街の基礎となりました。  
小川宿には、江戸時代の熊本独自の行政単位である「手永」(小川宿周辺は河江手永、現在の松橋町と小川町に相当)の会所(役所)や、藩主細川家の宿泊・休憩所である御茶屋などの重要な施設が置かれ、江戸時代末期には篤姫が薩摩藩から將軍に輿入れするときに宿泊した記録も残されています。  
小川町商店街一带には、現在も江戸時代末期から明治時代に建築された町家が多く残されています。特に、メイン通りの上町通り沿いには、複数の町家が軒を連ねていますが、平成28年熊本地震ではその多くが大きな被害を受け、解体を余儀なくされました。  
その中で、町家の所有者や建築士が尽力し、県の復興基金などを活用して8軒14棟の建物が復旧され、そのうち3軒9棟が、現在までに国の登録有形文化財に登録されています。